

「ニュース・ラウンドアップ」では、アート界の最新パーツや刻々と変化する運送・物流の業界情報、トラックや特装車、建設機械などの新型車・新機種情報、トラックホビー情報などなど、トラックのみなさんに役立つような最旬のトピックスを幅広く紹介します。

ニュース★ラウンドアップ

業界情報から新型トラック&建設機械、最新アイテムまでお役立ち情報満載!

キャタピラー・ジャパン Cat 725 アーティキュレートトラック

建設
機械

最新技術を搭載した次世代建機を新発売

キャタピラー・ジャパンは'20年8月1日(土)に、「Cat 725 アーティキュレートトラック」を発売した。一新したキャブや画期的な新型トランスミッションとホイストコントロール統合レバーの採用により、オペレーター環境が飛躍的に向上。その他各種アップデートにより燃費性能が改善された。標準販売価格は6480万4000円(税別)。

【問】キャタピラー・ジャパン
☎045・682・3800

https://www.cat.com/ja_JP



キャタピラー・ジャパン
「Cat 725 アーティキュレートトラック」

ダイハツ グランマックストラック

トラック

海外で活躍する小型商用車を日本にて発売

ダイハツは'20年9月4日(金)に、新型小型商用車の「グランマックストラック」を発売すると発表した。インドネシアを中心に販売している「グランマックス」を、新開発1.5ℓエンジンや最新の安全技術を搭載するなど日本市場に向けて改良した。メーカー希望小売価格は162万4545円～(税別)。最大積載量は800kg(4WDは750kg)。

【問】ダイハツ お客様コールセンター
☎0800・500・0182

<https://www.daihatsu.co.jp>



ダイハツ
「グランマックストラック」

ミドリ安全 カーボンヘックスシリーズ

カー
グッズ

耐衝撃 & 耐切創を兼ねた作業用グローブ

ミドリ安全は'20年7月1日(水)、作業用手袋シリーズ「カーボンヘックス」より、薄手で動きやすい「KX-90」と耐衝撃レベル2の性能を持つ「KX-91J」を新たに発売した。耐衝撃性と耐切創性を兼ね備えており、切創リスクのある現場などでの活用が期待される。標準価格はKX-90Jが2910円(税別)、KX-91Jが3000円(税別)。

【問】ミドリ安全 コールセンター

☎0120・310・355

<https://midori-anzen.com>



ミドリ安全
「カーボンヘックス KX90J」

加藤製作所 真空式万能吸引車 IC75MV

建設
機械

効率の良い土砂回収作業を実現する新製品

加藤製作所は「真空式万能吸引車(クローラキャリア式)IC75MV」を'20年7月より全国一斉に販売した。油圧ショベルカーやオーガを使用した掘削と違い、水圧で土砂を崩し吸引することで埋設物を破壊するリスクのない土砂回収作業が可能。標準仕様価格は3980万円(税別)。

【問】加藤製作所

☎03・3458・1113

<http://www.kato-works.co.jp>



加藤製作所
「真空式万能吸引車 IC75MV」

極東開発工業 K-DaSS

アスリ

ごみ収集車ユーザー向けのアプリを展開

極東開発工業は特装車の稼働状況を記録、蓄積するIoT基盤を利用した車両管理システム「K-Dass」について、ごみ収集車ユーザー向けのアプリおよびwebの展開をスタートさせた。登録することにより「統計情報」、「移動履歴」、「収集管理」、「保守情報」の4つのデータをいつでも確認できるため、日々の業務や車両の状態をオンデマンドで把握することが可能になる。

【問】極東開発工業

☎0570・00・7226

<http://www.kyokuto.com/>



極東開発工業
「K-Dass」

リークラボ・ジャパン ハイパークール スーパークーラント

カー
グッズ

オーバーヒートを予防するクーラント復活材

米國プロユース自動車添加剤ナンバー1を誇る「リズロン」の輸入総発売元のリークラボ・ジャパンは「ハイパークール スーパークーラント」を今夏発売した。クーラント(冷却水)の表面張力を低下させ、熱伝導効率を向上させることによって、オーバーヒートを予防する。すべてのクーラントに添加可能。価格は2820円(税別)。容量は473mlでクーラント11ℓ～19ℓに対し1本使用。

【問】リークラボ・ジャパン

☎06・6582・5497

<https://leaklab-japan.jp/>



リークラボ・ジャパン
「ハイパークール スーパークーラント」

【ハミダシ情報】日野自動車、いすゞ自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックの国内トラックメーカー4社は'20年7月20日(月)、トラックの隊列走行を官民一体で進めようと発表。「'21年までに実用的な後続車有人隊列走行システムの商業化を目指す」との政府目標に対し、4社は強調整車間距離維持システム(CACC)の開発などに取り組む。